

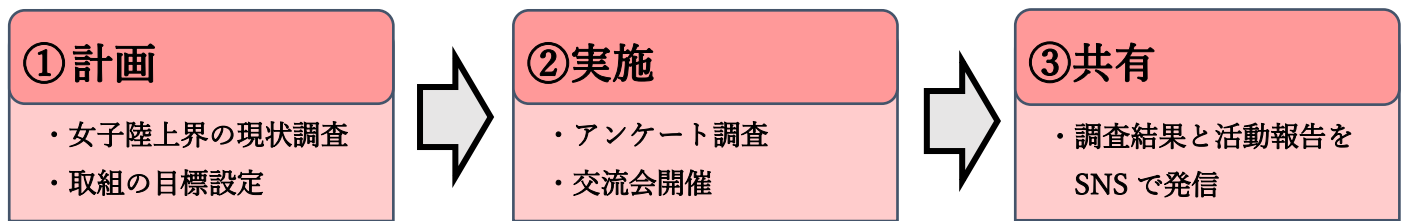
知ろう、話そう、つながろう
～陸上競技を楽しく続けるために～



■取組背景と目的

関西外国語大学女子駅伝部は、日頃から地域の陸上教室や大会運営のサポートなど社会貢献活動を積極的に行っている。今回は社会貢献活動の一環として、日本陸上競技連盟の JAAF×SDGs プロジェクト "#LETSTHINK_" の趣旨に賛同し、取り組みを開始した。私たちの強みを最大限に活かしながら、特に大学女子陸上界の持続可能な明るい未来を拓くことに注力し、女子競技者が長く楽しく陸上競技を継続できる社会の構築を目指す。

■実施プロセス



■課題と具体的取組

【女子競技者の課題】

日本では、社会からの役割期待の希薄さや女子競技者に対する理解の乏しさなどが原因で、年齢が進むにつれて競技人口が減少するという問題を抱えている。その中でも、私たちは、大学へ進学して競技を継続する女子競技者が少ないという課題に注目した。

【課題解決のための取組内容】

I. 陸上競技をしている女子高校生と女子大学生を対象にアンケート調査を実施

高校生対象のアンケートでは、女性の陸上競技の継続と引退という問題を考察するために、競技生活での悩みや大学で陸上を続けることのイメージについて調査を行う。

大学生対象のアンケートでは、高校生以下の女子競技者にとって参考になるような意見を集約するために、競技生活での様々な悩みを抱えながらも競技に打ち込んでいる大学生の考えや取り組みについて調査を行う。

II. 中高生との交流会を開催

女子競技者が抱える競技の悩みについての意見交換や、大学で競技を続けることの楽しさや魅力などを伝える交流会を開催する。

III. アンケート調査結果や活動の報告を SNS で発信

女子競技者についての課題や私たちの取り組みを多くの方々に知ってもらうために、アンケート調査結果や交流会の様子を SNS で発信する。